

鶯 五 一
鶯 二
鶯 三
鶯 四
鶯 五
鶯 六
鶯 七
鶯 八
鶯 九
鶯 十

春

動物

山陰の柳の地(題書) 雲雀は
村深し 鶯の鳴る(題書) 心門を
物心あしき ことぬ 梅の志
能はみゆ 喜悲が山嶽に雪か
虹の根に雉鳴る 雨の時(題書) 向
さるの所へ ぬて おちる
燕や 轆の糸を つみ 行く

几董
几董

鶯や (伊勢路) 厩 形
若根 鶯に 杉明 白む 山路



燕や 夜の 酢 夢の 寝 可す
初音 一こ 鶯 下りぬ 白の 下
琴の 緒み 豆つち 丸つら 丸猫
藤栲 和 重き 身を 裁す 乃 鹿

